

3月27日、28日実施のタウンミーティングまとめ

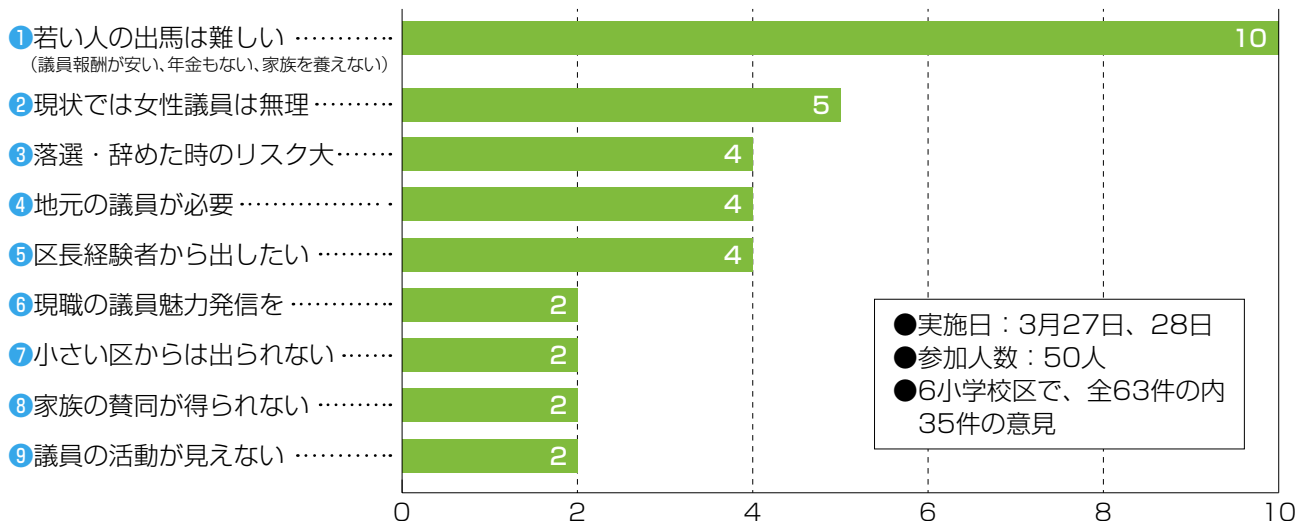
- 区の議員候補は
- 女性や若い世代の候補は
- 区長と議員のそれぞれの役割は
- 一つの区に複数の議員がいる場合、区に議員がいない場合は

3月27日、28日に学区毎に、区長さん方の声を聞く、タウンミーティングを実施しました。

議員のなりて不足に関わる、いろいろな観点から、意見を出してもらいました。多くの意見が出て、その意見を分類し整理しました。最も意見が多かったのが「若い人の立候補は、リスクが大きく難しい」の10件でした。報酬が少なく、年金もなく、仕事としての保証がない、家族を養えないというのが理由です。

次に多かったのが「現状では女性議員は無理」の5件でした。その中には、女性区長登用など、出られる環境整備をという意見がありました。

意見のまとめ (2件以上あった意見)



2019年統一地方選 定数割れ自治体 (8町村/全国1,718市町村)

都道府県	自治体	人口(人)	財政力指数	定員(人)	議員数(人)	議員報酬(万円)
北海道	厚真町	4,657	0.48	11	10	18.0
北海道	興部町	3,909	0.21	10	9	18.5
北海道	中札内村	3,993	0.27	8	7	16.1
北海道	浜中町	6,016	0.20	12	10	18.6
長野県	辰野町	19,954	0.47	14	13	22.7
長野県	山之内町	13,127	0.44	14	13	19.2
熊本県	津奈木町	4,722	0.21	10	9	23.3
愛知県	幸田町	40,836	1.16	16	15	30.0

定数割れの現状

幸田町議会は、2019年の選挙で、定数割れの事態となりました。全国の1718市町村の内、定数割れ自治体はわずか8町村であります。

幸田町以外の町村は、いずれも人口の少ない過疎の町であります。一方、幸田町は、人口は増加し続けている、財政力指数1.16である、8町村の中では唯一、たいへん元気な町であります。

そういった幸田町が、定数割れになったことは、たいへん深刻と受け止めるべきではないでしょうか。

特集

シリーズ 2

議員のなり手不足解消に向けて

タウンミーティングを終えて 議員の所感

若い人が生活できる 議員報酬を

町民の関心がまったくない。昔から地域選出というのもネック。若い人を選出したいのであれば、生活できるくらいの報酬がないと厳しいのではないか。

出やすい環境整備を

定数割れの意識が全くない。15人で回っているじゃないかと言われた。若い人や女性が必要。幸田町をどうしていくかという若い人の意見がある。そのために、環境や報酬を整えて、真剣に考えていく必要があるのでは。

女性を区長に

全体の印象として、議員のなり手不足解消の決定打はないと思っただ。そもそも定員割れが問題だと思われていない。区長になる人ももっと若くしていくという環境が必要。あわせて女性区長という発想もありではないか。また、幸田町に大きな問題がないので、議員になって、幸田町を変えてやろうという気持ちにならないのではないか。

町民も危機感を

補欠選挙があるが、変な人が出てきて無投票で当選してしまったらどうするのが不安。議会も町民も、そういった危機感や認識を持つ必要があるのでは。

女性の出やすい環境を

町政に対して興味が薄い。女性が出やすい環境がそもそもない。多くの地元区として、女性を登用する気がないように感じる。そこを変えていかなければならない。

報酬に関して、低いものもあるが、生活保証がないのでリスクが高い。兼業をしながらできるようにする必要もあるかと思う。そうすれば報酬の低さもカバーできるのではないか。



議員の魅力発信を

議員に魅力に感じてもらえるよう、議員自身が、議員の魅力を発信していかなければいけないと思った。

定数の問題意識がない

定数割れに対する、問題意識を、持たれていない。そもそも何が問題なのか分からないという意見があった。若い人にとって報酬は不足。仕事を辞めてまでなろうとは思わない。リスクが高すぎる。地域としても、区長などを経験して地元の勉強をした人によって欲しいという意見が多い。若い人や女性になってほしいという必要性や要望など、意識は感じられなかった。

今後の進め方

今後も、各種団体などと、タウンミーティングを計画しています。得られた課題を議員全員で討議し、課題解決へ向けての町民の皆さまのご理解ご協力を、賜りたいと考えています。

次期改選まで、議員なりて不足解消に向けて、努力してまいります。



町民の意見を聴く